



市議会議員
木下安子

調布・生活者ネットワーク
〒182-0022 調布市国領町 8-1-13
TEL/FAX: 042(487)3087
email: waku2seikatsusha@mpd.biglobe.ne.jp
HP: http://chofu.seikatsusha.net/

活動レポート第128号 2020.4.6
発行責任者 八木昭子

第一回定例会報告

～基本的施策に対する質問～

子どもたちに確実に安全な給食を!

日本の食の安全は大きな危機に直面しています。国は「ゲノム編集食品」の表示の義務化を見送る方針。また、昨年廃止された「種子法」とこれから審議される「種苗法」が適用されると、遺伝子組み換え技術を有し、健康被害が確認されている農薬と種をセットで販売する多国籍企業が、私たちの口に入る穀物や野菜、果物を独占することになる危険性があります。このような状況下で、市はどうにして子どもに安全な給食を確実に供給していくのか問いました。

各学校の正規職栄養士を中心に、遺伝子組み換えをしていないもの、産地等の特定などができる食材を使用、農業に関する法律改正等について適宜情報を共有していくという答弁でしたが、農業者に法改正の内容が正しく伝わっているのかは疑問です。



平和を希求する思いを若者に!

広島平和派遣事業は、若者に平和を希求する思いを継ぐ良い取り組みですが、核兵器だけでなく、武力そのものが平和を生み出さないことをさらに発信するべきです。そこで全国首長九条の会への加入の意思を問い合わせましたが、予定はないとの答弁。



9条については、「世界で唯一の核被爆国である日本が、戦争の悲惨な体験を次世代に経験させない決意を世界に表明したもの」との認識が示されました。他国も原発事故での核被爆を経験していることから違和感があります。「平和の祭典」であるオリンピックの会場都市として平和祈念事業を推進することですが、大会に影響されることなく継続するべきと考えます。

総合福祉センター移転先選びは慎重に!

総合福祉センターの有力な移転候補地である京王多摩川駅周辺は、洪水ハザードマップ上では浸水地域で、利用者からは不安の声も出ています。現在のセンターは台風19号で要支援者等の避難場所としての役割を果たしたこともあり、再検討を求めました。

答弁では、施設や設備の老朽化、南側の道路拡幅による建物のセットバック、またセンターのサービスを建替え工事中も継続する必要があることなどから、今の場所での建替えは難しく、京王多摩川駅周辺への移転を検討する方向性に変わりはないことが示されました。支援が必要な市民に寄り添い、利用者や市民との対話を通じて丁寧に進めるよう強く求めています。

◆その他の質問項目◆

- 新型コロナウイルス対応についての意見・要望
- プラごみ・ペットボトルごみ削減の取り組み
- 給食牛乳の容器変更
- 市民力を生かしたケアラー支援
- 生活困難層の子どもへの支援
- パラハートちゅうふに込められた共生社会への展望
- 5G基地局の電磁波への対応
- 多胎児の親への支援
- 小中学生のオリンピック観戦
- 男女共同参画推進

